

体操競技男子団体

田辺工業が4連覇

全国高校総体県予選

全国高校総合体育大会(インターハイ)県予選の体操競技が5月31日～2日、和歌山市の県立体育館であり、男子団体の部で田辺工業が4年連続14回目の優勝を果たした。7月28～30日、佐賀県で開かれる高校総体に出場する。



インターハイ出場を決めた田辺工業高校体操部(右から鈴木孝彦、玉置海渡、山本群、楠川雄太、佐々木侖緒、大西龍樹、長坂朋弥の各選手)

団体戦には田辺工業のほか和歌山北、和歌山工業、近大和歌山が参加した。6種目あり、1チーム(6人)から4人が出て競技。各種目の上位3選手の点数を合計して最終順位を決めた。田辺工業は、2位の和歌山北に大差をつけて団体総合優勝を果たした。

男子個人の部でも田辺工業勢が活躍。個人総合で同校2年の山本群選手が優勝、2年の楠川雄太選手が2位、1年の佐々木侖緒選手が4位、2年の鈴木孝彦選手が5位に入賞した。種目別では、楠川選手が、ゆか、つり輪、跳馬、鉄棒で優勝。山本選手はあん馬、平行棒で優勝した。

男子個人の部では、団体メンバー以外の選手で個人総合の上位に入った和歌山北の選

手と田辺工業の鈴木孝彦選手が高校総体に出場する。

同校3年の赤木大輝主将は「体操部全員の力を合わせて優勝できた。先生や保護者や先輩が支えてくれたことに感謝したい。インターハイでもみんなで頑張りたい」と語り、体操部の柴田達也監督は「団体戦は1種目目のあん馬から高得点をマークして波に乗って優勝できた。まだまだ力をつけなくては。インターハイでは残り残すことがないよう練習していきたい」と話している。

同校の団体メンバーは次の

皆さん。3年―玉置海渡、2年―山本群、楠川雄太、大西龍樹、1年―佐々木侖緒、長坂朋弥

個人の部の田辺工業の選手の成績は次の通り。

- ゆか①楠川雄太②佐々木侖緒③山本群▽あん馬①山本群②楠川雄太▽つり輪①楠川雄太②山本群▽跳馬①楠川雄太③佐々木侖緒▽平行棒①山本群②鈴木孝彦③長坂朋弥、玉置海渡▽鉄棒①楠川雄太②山本群

【男子2部】

- 個人総合①愛須健太郎②岩本峻平、城本涼介④小山遠⑤土山祥幸(以上、田辺工業)